日本体育・スポーツ・健康学会 若手の会

vol.52
2021.10.01

若手研究者コラムリレー

佐野 加奈絵（さの かなえ）

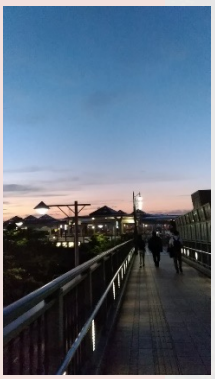
プロフィール

2018年- 森ノ宮医療大学保健医療学部鍼灸学科スポーツ特修コース　講師
日本体育・スポーツ・健康学会の専門領域：バイオメカニクス
小学3年生から大学卒業までずっとハンドボールをしていました。

京都府生まれ
2009年　大阪体育大学体育学部　卒業
2012年　大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科博士前期課程　修了
2015年　大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科博士後期課程　修了
2015年-2017年　大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科　助手
2017年-2018年　立命館グローバルイノベーション研究機構　研究教員（助教）

E-mail: kanae_sano@morinomiya-u.ac.jp

↑2019年森ノ宮医療大学ゼミ生とともに。真ん中が筆者。


大学からの帰り道。この景色をみると1日が終わります→

わたしの研究

形態的・機能的特徴の関係性からその調整メカニクスを探る

これまで私は、動作、生体内を可視化するイメージング技術と表面筋電図法の同時測定により、身体運動中の骨格筋・腱のbehaviorや活動を調べることで、ヒトの身体がどのようにしてその身体運動を可能としているのか？どのようにしてさらに爆発的なパワー発揮や高い運動効率を可能とするのかについて研究してきました。

修士論文では、サルコペニアや腱の材質低下が起こるとされる高齢者における下肢の筋腱形態の特徴と神経・筋腱動態からこれらについて考えました。

また、博士論文では、この度の東京オリンピックの陸上長距離種目において金メダルを獲得した東アフリカ中・長距離選手における形態的特徴と筋の活動、腱（腱膜）の動態を調べ、さまざまな検証から、彼らの強さの秘訣は、その持ち合わせた骨格とその骨格・筋腱の特徴を効果的にフル活用した特異的な筋の調整機序にある可能性を見出しました。

これらの研究は一見、異なる測定対象で異なる研究にみえますが、実は共通することも多く、とても興味深い点が多々あります。最終的に、測定対象が違ったり測定対象者のレベルが違っても、同じセオリーに結果が乗ってくる、と考えており、今後、これらがすべて説明できる“ヒト骨格特有の骨格筋調整機序を解明すること”が、私の研究人生を彩る大きなテーマの一つとなっています。

とは言えども、修士や博士課程のときはこのようなことはほとんどイメージできておらず、無我夢中で指導教員に指導を乞い、いろんな実験、いろんな共同研究、いろんな国に連れていってもらいました。それが今でも私の礎になっています。

必読

わたしの渾身の論文

Sano K、Komi PV、Ishikawa M et al. **Muscle-Tendon Interaction During Human Dolphin-Kick Swimming.** Front. Physiol.、13 September 2019 (https://doi.org/10.3389/fphys.2019.01153)

（なんでも帳）

私は、現在、2025大阪国際博覧会（Osaka EXPO 2025）開催予定地の近くに位置する、大阪府の咲洲という人口島にあります「森ノ宮医療大学」という大学に勤めています。まだまだ、開学して間もない大学ではありますが、医療大学ということで、今まで所属していた大学とはまた違った雰囲気の学生さんたちや教員の方と出会えて、毎日楽しい日々を送っています。私は特に、保健体育の中・高の先生を目指して頑張っている学生さんに授業をするのですが、わたしよりも骨・筋・神経、さらには疾患やそれに関連する要因についても詳しくて、毎回の授業の前は学会発表前のようにたくさん準備が必要になります（個人差あり？）。着任してから4年目になりますが、日々良い経験をさせてもらっています。

振り返ると、これまで、本当に良い縁に恵まれて色々な同級生や先輩、後輩、そして恩師の先生方に出会い縁を紡いでまいりました。毎日を精一杯楽しんで過ごし、気付けばイチ大学教員として、今では大学生に囲まれて過ごしていますが、大学院在籍時にはこんな姿は想像も出来ませんでした（もちろん、バイメカ学会の理事や若手の会委員の拝命についてもです）。人生、何がターニングポイントになるかは分かりませんね。

それでは最後は大学生の部活時のスローガンで締めたいと思います。「今瞬間に全力を尽くせ」！

ご一読、ありがとうございました。

日本体育・スポーツ・健康学会 若手の会からのお知らせ

2018年8月に日本体育・スポーツ・健康学会若手の会が発足しました！→　メーリングリスト登録フォーム:
https://goo.gl/forms/zGMPdPq5fY3kcB5q2
学会大会、研究会等の開催や報告者募集に関する案内、公募や助成金情報等に関する情報提供を配信予定です。皆様からも、メーリングリストで周知したい情報がありましたら、下記までご連絡ください。
taijikugakkaiwakate@gmail.com